

取引依存度及び売上高等確認書

※鉛筆や消せるボールペンの使用不可

(記載例) 最近1か月を令和5年10月とし、間接取引を行っていた場合

1. 指定事業者に対する取引依存度について (取引依存度20%以上が要件)

令和 4 年 11 月 ~ 令和 5 年 10 月

直接取引・間接取引(いずれかに○)

原則、申請月の前月もしくは前々月までの12か月を記入。
取引期間が1年未満の場合は、取引を開始した月から直近の申請月の前月もしくは前々月までの期間を記入、

取引先名	(A) 上記期間における指定事業者との取引額 (又は指定事業者に関連する取引額)	(B) 上記期間における取引総額	備考 の連鎖関係
〇〇株式会社	150,000,000 円	200,000,000 円	
××産業株式会社	円	100,000,000 円	諸外国において日本国からの水産物の輸入を業とする者に水産物の輸入をしている〇〇株式会社の、水産物の加工を当社が下請けし製造。
	円	円	
	円	円	

取引先ごとの取引額等を記入。

単位：円

(A) 上記期間における指定事業者との取引額 (又は指定事業者に関連する取引額)	(B) 上記期間における取引総額	依存率 (%) A/B×100
150,000,000 円	300,000,000 円	50.0 %

≥20%

小数点2位以下切り捨て。

2. 売上高等について (10%以上の減少が要件)

○事業活動の制限を受けた後最近1か月売上高等及び見込み売上高、前年同期の売上高

単位：円

	事業活動の制限を受けた後最近1か月間売上高等及びその後2か月の売上見込み	前年同期の売上高
10月の売上高等	10,000,000 (C)	20,000,000 (D)
11月の売上高等	10,000,000 (E ₁)	20,000,000 (F ₁)
12月の売上高等	10,000,000 (E ₂)	20,000,000 (F ₂)

最近1か月とは、申請月の前月もしくは前々月。

Cの期間後2か月間の見込み売上高等	Eの期間に対応する前年の2か月間の売上高等
20,000,000 (E)	F ₁ +F ₂ = 40,000,000 (F)

○最近1か月の減少率及び最近1か月を含めた今後3か月間の減少率

最近1か月の減少率		最近1か月を含めた今後3か月間の減少率	
$\frac{D-C}{D} \times 100 =$	50.0 %	$\frac{(D+F)-(C+E)}{D+F} \times 100 =$	50.0 %

≥10%

小数点2位以下切り捨て。

上記内容について、事実に相違ありません。

令和 5 年 11 月 15 日

(申請者)

住 所

氏 名

(名称及び代表者の氏名)

さいたま市浦和区常盤 6-4-4

株式会社●●●●●●●●●●

取引依存度及び売上高等確認書

※鉛筆や消せるボールペンの使用不可

(記載例) 最近1か月を令和5年10月とし、直接取引を行っていた場合

1. 指定事業者に対する取引依存度について (取引依存度20%以上が要件)

令和 4 年 11 月 ~ 令和 5 年 10 月

直接取引・間接取引 (いずれかに○)

原則、申請月の前月もしくは前々月までの12か月を記入。
取引期間が1年未満の場合は、取引を開始した月から直近の申請月の前月もしくは前々月までの期間を記入。

取引先名	(A) 上記期間における指定事業者との取引額 (又は指定事業者に関連する取引額)	(B) 上記期間における取引総額	備考 の連鎖関係を記入
諸外国において日本国からの水産物の輸入を業とする者	150,000,000 円	200,000,000 円	
	円	円	
	円	円	
	円	円	

取引額等を記入。

単位：円

(A) 上記期間における指定事業者との取引額 (又は指定事業者に関連する取引額)	(B) 上記期間における取引総額	依存率 (%) A/B×100
150,000,000 円	200,000,000 円	75.0 %

≥20%

2. 売上高等について (10%以上の減少が要件)

○事業活動の制限を受けた後最近1か月売上高等及び見込み売上高、前年同期の売上高

単位：円

	事業活動の制限を受けたの最近1か月間売上高等及びその後2か月の売上見込み	前年同期の売上高
10月の売上高等	10,000,000 (C)	20,000,000 (D)
11月の売上高等	10,000,000 (E ₁)	20,000,000 (F ₁)
12月の売上高等	10,000,000 (E ₂)	20,000,000 (F ₂)

小数点2位以下切り捨て。

最近1か月とは、申請月の前月もしくは前々月。	期間後2か月間の見込み売上高等	Eの期間に対応する前年の2か月間の売上高等
	20,000,000 (E)	F ₁ +F ₂ = 40,000,000 (F)

○最近1か月の減少率及び最近1か月を含めた今後3か月間の減少率

最近1か月の減少率		最近1か月を含めた今後3か月間の減少率	
$\frac{D-C}{D} \times 100 =$	50.0 %	$\frac{(D+F)-(C+E)}{D+F} \times 100 =$	50.0 %

≥10%

小数点2位以下切り捨て。

上記内容について、事実に相違ありません。

令和 5 年 11 月 15 日

(申請者)

住 所

氏 名

(名称及び代表者の氏名)

さいたま市浦和区常盤 6-4-4

株式会社 ●●●● ●● ●●

取引依存度及び売上高等確認書

※鉛筆や消せるボールペンの使用不可

(記載例) 最近1か月を令和5年10月とし、直接取引及び間接取引を行っていた場合

1. 指定事業者に対する取引依存度について (取引依存度20%以上が要件)

令和 4 年 11 月 ~ 令和 5 年 10 月

直接取引 間接取引 (いずれかに○)

原則、申請月の前月もしくは前々月までの12か月を記入。
取引期間が1年未満の場合は、取引を開始した月から直近の申請月の前月もしくは前々月までの期間を記入。

取引先名	(A) 上記期間における指定事業者との取引額 (又は指定事業者に関連する取引額)	(B) 上記期間における取引総額	備考: 関係の連鎖関係を記入
諸外国において日本国からの水産物の輸入を業とする者	150,000,000 円	200,000,000 円	
××産業株式会社	150,000,000 円	200,000,000 円	諸外国において日本国からの水産物の輸入を業とする者に水産物の輸入をしている○株式会社、水産物の加工を当社が下請けし製造。
	円	円	
	円	円	

直接取引及び間接取引の両方該当している場合は、どちらにも○を記入し、取引先ごとの取引額等を記入。

単位: 円

(A) 上記期間における指定事業者との取引額 (又は指定事業者に関連する取引額)	(B) 上記期間における取引総額	依存率 (%) A/B×100
300,000,000 円	400,000,000 円	75.0 %

≥20%

2. 売上高等について (10%以上の減少が要件)

○事業活動の制限を受けた後最近1か月売上高等及び見込み売上高、前年同期の売上高

単位: 円

	事業活動の制限を受けた後最近1か月間売上高等及びその後2か月の売上高見込み	前年同期の売上高
10月の売上高等	10,000,000 (C)	20,000,000 (D)
11月の売上高等	10,000,000 (E ₁)	20,000,000 (F ₁)
12月の売上高等	10,000,000 (E ₂)	20,000,000 (F ₂)

小数点2位以下切り捨て。

最近1か月とは、申請月の前月もしくは前々月。

Cの期間後2か月の見込み売上高等	Eの期間に対応する前年の2か月の売上高等
20,000,000 (E)	F ₁ +F ₂ = 40,000,000 (F)

○最近1か月の減少率及び最近1か月を含めた今後3か月間の減少率

最近1か月の減少率	最近1か月を含めた今後3か月間の減少率
$\frac{D-C}{D} \times 100 = 50.0 \%$	$\frac{(D+F)-(C+E)}{D+F} \times 100 = 50.0 \%$

≥10%

小数点2位以下切り捨て。

上記内容について、事実と相違ありません。

令和 5年 11月 15日

(申請者)

住所

氏名

(名称及び代表者の氏名)

さいたま市浦和区常盤6-4-4

株式会社●●●●●●●●●●